

志摩市の年末年始行事一覧

2016年12月19日現在

地区	月日	名称	場所等	問合せ	備考
阿児地区	12月31日～1月1日	除厄会による年越し そば等ふるまい	宇賀多神社	宇賀多神社 43-0332	厄年の人たちによって、31日の23時より神社境内や鶴方幼稚園にて、そばやおしるこ、お神酒のふるまい、駄菓子のつかみ取りなどが行われる。
	12月31日～1月1日	あのり紅白芸能合戦 初日の出と初富士	安乗灯台公園	あのり有志会(浜口) 090-8964-6964	31日の23時よりキャンドルナイトと芸能のだしもの。明朝の6時頃より初日の出を拝みながら伊勢えび汁やふぐ汁、甘酒等のふるまいがある。(資料4)
	1月1～3日	獅子舞行事	宇賀多神社	獅子舞保存会 43-1583	市指定無形民俗文化財。毎年12月上旬から、地元の若者が境内で毎晩練習(19:30頃～)し、伝統を守り続けている。元旦と2日は赤獅子1頭が舞う。クライマックスの3日は赤白の雄雌両頭の獅子が、勇壮な舞を披露し、その後餅まきなどは大勢の人でにぎわう。 獅子舞の披露時間：1日 13:30～14:30 2日 14:00～14:30 3日 14:30～15:00
	1月2日	ひっぽろ神事	うきひ 宇気比神社	うきひ 宇気比神社 45-3565	一年の豊作を祈る神事。獅子舞につづいて、豊年竿の舞、火祭りなどの行事が行われる。 神事 13:00～、獅子舞 16:00～20:00頃、20:00～火祭り
	1月2日	さんばそう 三番叟	二ワの浜	安乗神社 47-3423	安乗の人形芝居による三番叟を海に向かって奉納。 14:00～
	1月10日	しめきしんじ 注連切り神事	安乗神社 47-3423	安乗神社 47-3423	大蛇に見立てた二本の大しめ縄を、カヨウと呼ばれる若者が刀で断ち切り、その太刀数によって一年の豊凶が占われる。断ち切られたワラは、虫除けのまじないにと持ち帰られる。 祭典 14:00～ 神事 15:00 前後～
磯部地区	12月31日～1月1日	年越し大かがり火 甘酒ふるまい	伊雑宮	かがり火...31日 23:00頃～4:00頃 伊雑宮 55-0038 お神酒・甘酒ふるまい...1日 0:00～2:00頃、8:00～12:00頃 伊雑宮奉賛会 55-0025	
	1月1日	日の出早餅搗き	おうむ岩	恵利原早餅搗き保存会 (羽根) 55-1344	初日の出を祝い、餅搗きや甘酒のふるまいが行われる。 7:00頃～
浜島地区	毎年1月11日	ばんうお 盤の魚 弓 引神事	うきひ 宇気比神社	うきひ 宇気比神社 53-0088	盤の魚は、場の中央に置かれた俎板で手を触れず俎箸を置いて鯛(ぼら)を断ち切り再び元の姿に整える儀式。その後、その年の五穀豊穡と大漁・海上安全を祈願し、地元の若者が的に矢を射る弓引き神事が行われる。 13:00頃～
	毎年1月20日	鼻かけえびす 笑い神事 初	恵比寿神社	うきひ 宇気比神社 53-0088	江戸時代享保年間から続く神事。恵比寿神の祭りを恵比寿講といい、年初めの初笑いといれと組み合わせて盛大に講が行われる。毎年正月の恵比寿講には漁業組合を中心に漁業従事者や各階層の人々が集まって恵比寿神の心を心として南方向の浜を向き、3回の初笑い行事が繰り広げられる。 13:00頃～

志摩地区	12月31日～	ねぎたき (ねぎあぶり)	片田稲荷神社 片田大野浜	片田稲荷神社 85-2342	大野浜に年木(ねぎ)を積み、午後7時ごろ、地元の若者が稲荷神社に参拝し、灯明の火を年木に移してドンド焼をする。火の粉が高く上がり勢いよく燃えるほど大漁満足であると言われている。最後に火を神社に運び、境内の焚き火として参拝者に供する。 18:30頃～
	12月31日	御座爪切不動尊	竹灯籠イベント	爪切不動尊 88-3431	竹灯籠による境内ライトアップ。 18:00～21:00
	1月7日	片田稲荷神社大祭	片田稲荷神社	片田稲荷神社 85-2342	漁業と商売の神様として信仰を集めている片田稲荷神社の例大祭。こどもたちに参拝8:00～17:00、もちまき15:00～
	1月16日	御座爪切り不動尊大祭	御座爪切不動尊	お参り、ご祈祷等... 爪切不動尊88-3431 イベント等... 爪切不動尊祭奉賛会... 代表 森田 080-5135-5987	弘法大師が自然石に自らの爪で刻んだと言われる不動明王がまつられている不動尊での祭り。ダンス、くじ引き大会、もちまきなどが行われる。 12:00～15:00
大王地区	12月31日～1月1日	名のり・山ノ神注連縄 <small>しめなわ</small> 切り・火まつり	波切全域	波切自治会 72-4279 (開所日は平日の9時～17時)	大晦日の夜、各町内からそれぞれ名のり船頭と子方が、各家の戸口で祝詞を唱えて、新年の縁起のよいことを祈って回る。その後、災いが町に入らないようにと船頭によって、山の神(長野町の出口)の二ヶ所の道路で大注連縄を造り、これを道に張って、「波切丸」という宝刀で切る神事である。切り終わると藁タイマツに火をつけ、大里の浜にそれぞれ運び積み上げた藁に点火し、漁師たちが釣り竿で跳ね上げ大漁を祈る。 名のり...19:00頃～ 注連縄切り・火まつり...0:00頃～
	1月1日	トツリアイ (火まつり)	船越前浜	船越自治会 72-2015 (開所日は月・水・金曜日の8時30分～12時30分)	200年続く伝統行事。船越前浜で小山のように積み上げた芝木に点火し、花模様の赤い長襦袢を着た若衆が、その中へ一本の丸太を八方から突き込んで火の粉を空に撥ね上げ、火勢の高低を競い合う。これは鰹釣りを競争することであり大漁の祈りが込められていることから「トツリアイ」と呼ばれている。 1:00頃～

時間時間についてはあくまで目安です。詳しい時間帯については各問合せ先へ問い合わせをご確認ください。
 行事当日は連絡が取れない可能性がありますので、お問い合わせの際はご注意ください。